

1 HOT TALK

関西のチューニング・シーンをリードする4人。それぞれの個性を出したHOTなチューンド・カーを'91年もリリースしてくれるに違いない。その熱きスピリッツを、それぞれに聞いてみた——。

牧原道夫

by トライアル
☎0729-65-6823

TRIAL



楽しんで、楽しませるクルマを作りたい

これまでのチューニングというのは、既存のパーツというのがあって、それを加工取り付けしていたものが、多かったという感じですね。でも、既存のパーツに頼らず、オリジナルパーツのものでチューニングしようとしているのが、現在のトライアルのスタイル。タービンのハウジングからして、うちのオリジナルのものを作るということ。そういう風にしていかなないと、これからのチューニングはダメだと思います。

そのステップとして、'90年はオリジナルパーツの開発の年になりました。例えばスカイラインGT-Rに搭載されているRB26DET。またトヨタの7M-GTEや3S-GT用のコンピューターロム、ステンレスマフラー、タービンなどのオリジナルものなどをリリースして、商品のバリエーションも少しずつ増えてきたということです。

既存のパーツでのチューニングの方が楽ですが、時間とお金をかけながら、自分たちの考え方に合ったオリジナルパーツを作るのは楽しいものです。

楽しいと言え、最近遠ざかっていますが、チューンドカーの最速記録にもチャレンジしてみたいですね。ああいう記録的な

ことは、自分たちが楽しめますし、今までやってきたことの結果みたいなのがあるからいいです。最近、最速記録が上がってきて、そろそろ谷田部では計算しにくい？ そんな感じだから走る場所を求めて、目は海外に向いているかも？ ひょっとしてボンネビルあたり？ なんて行けたらいいですね。(笑)

でも気持ちの中ではいつでも行きたいと思ってますよ。具体的な考えはまだだけど、トヨタや日産のクルマ。そして三菱のGTOなんか、ベースとしておもしろそうなクルマだと思ってます。クルマって、乗る以前に形だと思っし、チューニングの世界でもそんなインパクトが必要だと考えてます。その次に乗って、エンジンと足回り関係に目がいくと思うんですよ。

そういう意味では来年フルモデルチェンジ予定のソアラ、スープラに興味を持っています。チューニングのベースとしてはスープラに期待したいですね。できるなら、日産のZの様なクルマになってほしいですね(笑)。

もしそうなれば、スープラで200km/hまでが速く、乗り回す楽しみのあるクルマと、それとは別に最速記録用のクルマも作って

みたいです。もちろん、プレッシャーもありますので、最速記録に関しては遊び感覚で、シャカリキにならず、最高速にたどり着くまでのプロセスを楽しんでみたいと思います。プラス、チューニングというのは、ただ速いだけが問題じゃないと思うので、そのクルマの持つ性能を、トータル的にいかに引き上げるかが問題なので、その辺もクリアしてみたい。

だけど時代を振り返ると、L型全盛の時代やイロイロな時代があって、それをずっと見ていられる時って幸せなんですよ。回りがどう変化しようとずっと……。そんな風な時を、'91年も大切にしたいと思っています。

牧原道夫 PROFILE



昭和57年にテクニカルサービス・トライアルを設立して以来、ターボチューンドカーを中心にリリース。59年に谷田部で当時のチューンドカー最速記録の、307km/hを樹立した話はあまりにも有名。来年2月に「トライアル2号店」を堺に出店。